

施 策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-15-541
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標		生涯学習講座の充足度 市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 生涯学習情報（市広報紙）利用割合	担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



計画年度	平成15年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画						
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）	2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）												
市民	筑紫南コミュニティセンター図書室運営委託 ・図書室の開館業務 ・図書室主催事業の企画、実施（おはなし会、親子で参加できる講座等） ・地域行事等での図書イベント実施 ほか												
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	筑紫南コミュニティセンター図書室の運営事業を活用した学習活動や地域住民の交流により、地域づくり・子どもと保護者の健全育成が促される。												
4. 成果（簡易評価は未記入）													
成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標					
		実績	実績	当初	要求	計画	計画						
図書室利用者数	人	9,356	10,362	18,000	18,000			18,000					
貸出冊数	冊	22,367	21,554	25,000	25,000			25,000					
5. コスト													
事業費	計	千円	2,055	2,218	2,321	2,473							
	国	千円	0	0	0	0							
	県	千円	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0							
	その他	千円	0	0	0	0							
	一般	千円	2,055	2,218	2,321	2,473							
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1									
正職員人件費	千円	773	782	802									
トータルコスト(事業費 + 正職員人件費)	千円	2,828	3,000	3,123	2,473								
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）													
あがっている どちらかといえば あがっている あがっていない (停滞・低下)	図書室利用者数については前年度から1,006人増加した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、ほぼ計画通り実施することができたことで利用者数等の増加につながった。貸出冊数については前年度から813冊減少しているが、令和元年度を上回っておりコロナ以前の水準まで回復している。												
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）													
対象動向	維持	類似事業	なし	団体として会員（とくに若い世代）を増やすため、効果的に活動をPRする方法や他の事業、団体との連携等を検討していく必要がある。									
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし										
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし										
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり										
成果向上余地	大きい												
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了						
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持 / 事業終了の場合は記入する必要なし）													
図書室の利用増加及び団体との協働事業のあり方について、引き続き検討する。													
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄												
筑紫南コミュニティセンター建設時、建設委員会で検討した結果、図書室を設置し、地元ボランティアで運営することを確認していた。平成15年4月、筑紫南コミュニティセンターを開館し、図書室に図書司書を配置、平成20年度から図書室の運営を地元ボランティア団体に委託し、市民協働事業として展開した。													